

1. 消化管ホルモンと作用の組合せで正しいのはどれか。

- (1) 胃液分泌促進 ― gastrin
- (2) 胃液分泌抑制 ― secretin
- (3) 膵液分泌促進 ― somatostatin
- (4) 胆汁分泌抑制 ― cholecystokinin
- (5) 膵液分泌抑制 ― vasoactive intestinal polypeptide

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

2. 胆汁うっ滞によって吸収が阻害される栄養素を 2 つ選べ。

- (1) 葉酸
- (2) ニコチン酸
- (3) ビタミン K
- (4) ビタミン A
- (5) ビタミン B12

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

3. 舌下小丘に開口するものとして適当なのはどれか。

- (a) 舌下腺
- (b) 口唇腺
- (c) 顎下腺管
- (d) 前舌腺
- (e) 耳下腺管

4. 咬合不正（咬み合せの異常）を生じる骨折はどれか

- (1) Le Fort I 型骨折
- (2) 下顎骨体部骨折
- (3) 下顎骨関節突起骨折
- (4) 頬骨弓骨折
- (5) 下顎骨筋突起骨折

(a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

5. 口腔癌について正しいのはどれか。

- (1) 組織型では扁平上皮癌が多い
- (2) 放射線治療は有効ではない
- (3) 発現年齢では若年者に多い
- (4) 部位別では口唇に多い
- (5) 遠隔転移部位では肺が多い

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

6. 歯性上顎洞炎について正しいのはどれか。

- (a) 顎骨の破壊が著明である
- (b) 切歯が原因歯となることが多い
- (c) 左右同時に発症することが多い
- (d) う歯や歯周炎が原因で生じる
- (e) 上顎洞の X 線透過性が亢進する

7. 開口に関与する筋はどれか

- (a) 咬筋
- (b) 側頭筋
- (c) 頬筋
- (d) 内側翼突筋
- (e) 外側翼突筋

8. 大唾液腺に発生する唾石症について正しいのはどれか。

- (a) 唾液腺造影で導管の断絶と狭窄がみられる
- (b) 唾石は舌下腺に多くみられる
- (c) 唾石の主成分は硝酸石灰である
- (d) 腺体内唾石は自然排出されやすい
- (e) 摂食時の唾液流出障害により唾疳痛を生じることがある

9. 50 歳男性。左側顎下部に鶏卵大の無痛性、弾性硬、可動性の腫瘤を触知した。唾液腺造影 CT 検査にて顎下腺の半月状欠損像と後方圧排像が認められた。最も疑われる疾患はどれか。

- (a) シェーグレン症候群
- (b) 多形腺腫
- (c) 唾石症
- (d) 顎下型がま腫
- (e) リンパ管腫

10. 唇顎口蓋裂について正しいのはどれか。

- (a) 唇裂は正中が最も多い
- (b) 顎口蓋裂の閉鎖は生後すぐに行う
- (c) 不正咬合を伴うことは少ない
- (d) 哺乳指導が必要である
- (e) 唇裂の閉鎖は生後すぐ行う

11. 嚥下機能について、誤った組み合わせはどれか。

- (a) 口腔期 ― 食塊の送り込み
- (b) 咽頭期 ― 鼻咽腔閉鎖
- (c) 咽頭期 ― 喉頭挙上
- (d) 食道期 ― 咽頭弛緩
- (e) 食道期 ― 食道入口部弛緩

12. ヒト乳頭腫ウイルス(HPV)によっておこる頭頸部癌の特徴について正しいのはどれか。

- (1) HPV6 型が多い
- (2) 中咽頭癌（特に扁桃癌）が多い
- (3) p53 腫瘍抑制遺伝子は野生型が多い
- (4) 喫煙者、飲酒者が多い
- (5) 予後不良なものが多い

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

13. 注腸造影検査について正しいものはどれか。

- (a) 上行結腸は下行結腸より径が細い
- (b) 下行結腸では上行結腸に比して結腸膨起が目立つ
- (c) 横行結腸は固定されており、可動性に乏しい
- (d) 上部直腸と下部直腸の境界は経験的に上直腸襞に一致するとされている
- (e) 盲腸と上行結腸は回盲弁の上唇レベルで境界される

14. 注腸造影検査所見と疾患の組み合わせとして正しいものはどれか。

- (1) 潰瘍性大腸炎 — skip lesion
- (2) Crohn 病 — cobble stone appearance
- (3) 虚血性腸炎 — thumb printing sign
- (4) 進行大腸癌 — lead pipe appearance
- (5) 腸重責 — whirl sign

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

15. 絞扼性イレウスを疑わせる CT 所見として正しいものはどれか。

- (1) beak sign
- (2) colon cut off sign
- (3) foot ball sign
- (4) Rigler's sign
- (5) closed loop sign

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

16. 食道癌に対する放射線治療の記述として正しいものはどれか。

- (1) 表在癌の治療としては放射線治療単独が標準である
- (2) 標準的な放射線治療としては、放射線治療単独よりも化学放射線療法の方が有効である
- (3) 併用する化学療法は 5-FU+シスプラチンが標準である
- (4) 急性期の有害事象として食道炎が必発であるので、特に放射線治療単独の場合には適宜休止期間をとって、食道炎の回復をはかる必要がある
- (5) I 期の食道癌では手術が第 1 選択の治療として、最優先される

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

17. 消化器悪性腫瘍に対する放射線治療の記述として正しいものはどれか。

- (1) 膀胱癌は放射線抵抗性のために、局所制御には 70Gy 近い高線量が必要である
- (2) 肝細胞癌の門脈腫瘍栓に対する放射線治療の奏功例では、予後が有意に改善される
- (3) 肛門扁平上皮癌は肛門括約筋温存の面からも化学放射線療法が推奨されることが多い
- (4) 径 2cm の肝腫瘍は体幹部定位放射線治療の適応にならない
- (5) 直腸癌では肛門を温存するために、化学放射線療法が第 1 選択の治療となる

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

18. 次の文章のうち誤っているものはどれか

- (1) 腸重責は新生児期に多い
- (2) 中腸回転異常では 90° 回転型が最も多い
- (3) 腸重責の代表的な画像所見として、target sign や pseudokidney sign がある
- (4) 小児の腸重責が生じやすい部位は結腸脾彎曲部である
- (5) Hirschsprung 病は壁内平滑筋の欠如が原因で腹部膨満や腸閉塞をきたす

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

19. 次の文章のうち正しいものはどれか。

- (1) 大腿ヘルニアは嵌頓を起こしにくい
- (2) 急性虫垂炎の病気とし、カタル期、蜂窩織期、壊疽期がある
- (3) 外鼠径ヘルニアは小児に多い
- (4) Meckel 憩室には、TI（タリウム）ーシンチグラフィが行われる
- (5) Closed loop が形成されている場合は保存的に経過観察できることが多い

(a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

20. 食道表在癌の治療法の選択で正しい組合せはどれか。

- (1) m1 癌は EMR（内視鏡的粘膜切除術）の適応である
- (2) m2 癌には脈管侵襲が認められるため、根治手術の適応となる
- (3) sm 癌は早期癌のためリンパ節郭清は不要である
- (4) sm2・sm3 癌ではリンパ節転移の頻度が高いため、根治手術の適応となる

(a) 1,2 (b) 1,3 (c) 1,4 (d) 2,3 (e) 3,4

21. 食道癌に最も合併が多いのはどれか。

- (a) 肺癌
- (b) 胃癌
- (c) 肝臓癌
- (d) 前立腺癌
- (e) 膀胱癌

22. 疾患と術後早期に起こりうる合併症の組み合わせとして適切なものはどれか。

- (1)

胃癌

—

腓液ろう
- (2)

食道アカラシア

—

嗄声
- (3)

食道癌

—

骨盤内膿瘍
- (4)

上行結腸癌

—

排尿障害
- (5)

直腸癌

—

勃起障害

- (a)

1,2

(b)

1,5

(c)

2,3

(d)

3,4

(e)

4,5

23. 胃癌の術後合併症について正しいものはどれか。

- (a)

噴門側胃切除後の小腸間置再建術は摂取した食物の貯留能保持が主な目的である
- (b)

術後に吻合不全を生じた場合、その後に吻合部狭窄となることがある
- (c)

逆流性食道炎に対しては、逆流防止のための再手術が第一選択である
- (d)

胃切除後には鉄欠乏性貧血は稀である
- (e)

早期ダンピングの症状は血糖値の急速な変動に起因するものが多い

24. 胃癌に対する幽門側胃切除で通常切離される血管はどれか。

- (1)

右胃動脈
- (2)

総肝動脈
- (3)

胃十二指腸動脈
- (4)

右胃大網動脈
- (5)

左胃大網動脈

- (a)

1,2,3

(b)

1,2,5

(c)

1,4,5

(d)

2,3,4

(e)

3,4,5

25. 胃癌術後補助化学療法について正しい組合せはどれか。

- (1)

StageⅡのみに対して行う
- (2)

レジメンはTS・1単剤である
- (3)

期間は一年間である
- (4)

局所再発予防のため、放射線照射も追加する
- (5)

分子標的薬は原則使用する

- (a)

1,2

(b)

1,5

(c)

2,3

(d)

3,4

(e)

4,5

26. 結腸癌について正しいものはどれか。

- (1)

潰瘍限局型が多い
- (2)

S状結腸癌の頻度がもっとも多い
- (3)

左側結腸癌はイレウスをきたしやすい
- (4)

血行性転移臓器は肺がもっとも多い
- (5)

結腸癌の再発形式は、肝転移より腹膜播種の方が多い

- (a)

1,2,3

(b)

1,2,5

(c)

1,4,5

(d)

2,3,4

(e)

3,4,5

27. 45歳、男性。直腸後壁、歯状線口側3cmに下縁を有する病変（20×20mm）を認め、経肛門的に局所切除を施行した。

今後の治療として適切なものを選べ。

- (1)

m癌で断端陰性だったので、経過観察を行う
- (2)

sm癌（軽微な浸潤sm1）であったので、経過観察を行う
- (3)

sm癌（中途度浸潤sm2）であったので、自律神経温存直腸切除術を行う
- (4)

sm癌（高度浸潤sm3）であったので、閉鎖リンパ節郭清を伴う直腸切除術を行う
- (5)

sm癌（中等度以上の浸潤sm2~3）で断端陽性であったので、局所的に再切除を行う

- (a)

1,2,3

(b)

1,2,5

(c)

1,4,5

(d)

2,3,4

(e)

3,4,5

28. 腸管感染症について、正しいものはどれか

- (1)

免疫抑制状態では、サイトメガロ腸炎が発症する可能性がある
- (2)

偽膜性腸炎の薬物治療の第一選択はバンコマイシン経口投与である
- (3)

アメーバ赤痢の確定診断には便培養検査が必須である
- (4)

回盲部の腸結核は稀である
- (5)

腸管スピロヘータ症は重症化した後に発見される場合が多い

- (a)

1,2

(b)

1,5

(c)

2,3

(d)

3,4

(e)

4,5

29. A型胃炎について、正しいものはどれか

- (1)

大球性貧血を合併することがある
- (2)

カルチノイドが多発することがある
- (3)

H.pylori感染がある場合は発症しない
- (4)

主細胞が主に障害されて起こる
- (5)

病変は前庭部（antrum）中心の分布となる

- (a)

1,2

(b)

1,5

(c)

2,3

(d)

3,4

(e)

4,5

30. 大腸疾患の分類法、病因、及び組織像について、正しいものはどれか

- (1)

Duke's分類は大腸癌の肉眼形態の分類である
- (2)

家族性大腸腺腫症はK-ras遺伝子のgermline mutationが原因とされる
- (3)

クローン病は乾酪壊死を伴う類上皮肉芽腫が特徴的である
- (4)

潰瘍性大腸炎の活動期には陰窩膿瘍が見られることが多い
- (5)

Goligher分類は痔核の病期分類である

- (a)

1,2

(b)

1,5

(c)

2,3

(d)

3,4

(e)

4,5

31. 胃、及び十二指腸疾患の病因、組織像について正しいものはどれか

- (1)

MALTリンパ腫はH.pylori感染と関係がある
- (2)

Gastrointestinal stromal tumor（GIST）の約90%は免疫染色でc-KIT陽性である
- (3)

セリアック病はTropheryma whippleiの感染が原因とされる
- (4)

胃生検材でadenomaはGroup4に分類される
- (5)

Borrmann分類は癌の壁深達度、リンパ節転移で判定する

- (a)

1,2

(b)

1,5

(c)

2,3

(d)

3,4

(e)

4,5

32. 胃癌に関連して正しい組み合わせはどれか

- (1) 進行胃癌の5年生存率は50%程度である
- (2) 大きさ40mmのⅡc 分化型腺癌 深達度SM1 癌はESDの適応拡大病変である
- (3) 大きさ50mmのⅡa 分化型腺癌 粘膜内癌はESDの適応拡大病変である
- (4) 大きさ10mmのⅡc 印鑑細胞癌 粘膜内癌はESDの適応拡大病変である
- (5) 胃癌の左鎖骨上窩リンパ節転移をVirchow 転移という

- (a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

33. 胃疾患に関する次の記述のうち正しい組み合わせはどれか

- (1) 胃癌症例の検討において、30%程度がH.pylori 感染が陰性と報告されている
- (2) 手術不能なGastrointestinal Stromal Tumor (GIST)の治療としてメシル酸イマチニブが有効である
- (3) 胃MALT リンパ腫の治療としてH.pylori の除菌治療が有効である
- (4) A型胃炎に伴うカルチノイドの標準治療は胃全摘術である
- (5) 早期胃癌とは、癌腫の浸潤が粘膜下層(sm)までにとどまり、かつリンパ節転移を認めないものである

- (a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

34. 蛋白漏出性胃腸症について正しいのはどれか。

- (a) 血清中のIgGは低下する
- (b) タリウムシンチグラフィは診断に有用である
- (c) α₁-アンチトリプシンクリアランスは増大する
- (d) 血清コレステロール値は高値になる
- (e) 主症状は便秘である

35. 食道疾患に関する次の記述のうち正しいのはどれか。

- (1) 食道異物は第2狭窄部に最も多くみられる
- (2) 胸部中部食道(Mt)は漿膜に覆われている
- (3) 食道アカラシアの分類としてLos Angeles 分類がある
- (4) 早期食道癌は、原発巣の壁深達度が粘膜内にとどまり、リンパ節転移の有無は問わない
- (5) 食道癌の危険因子として飲酒、喫煙があげられる

- (a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

36. 後腹膜に固定されているのはどれか。

- (1) 虫垂
- (2) 上行結腸
- (3) 下行結腸
- (4) 横行結腸
- (5) S状結腸

- (a) 1,2 (b) 1,5 (c) 2,3 (d) 3,4 (e) 4,5

37. 潰瘍性大腸炎よりCrohn 病に多い合併症はどれか

- (1) 大量腸出血
- (2) 肛門病変
- (3) 腸瘻
- (4) 腸閉塞
- (5) 中毒性巨大結腸症

- (a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

38. 潰瘍性大腸炎における大腸癌発生の危険因子として重要なものはどれか。

- (1) 全大腸炎型
- (2) 急性電撃型
- (3) 初回発作型（寛解持続型）
- (4) 慢性持続型
- (5) 若年発症型

- (a) 1,2,3 (b) 1,2,5 (c) 1,4,5 (d) 2,3,4 (e) 3,4,5

39. 次のうちで正しいものはどれか

- (a) 胃びらんとは、組織欠損が粘膜筋板を越えて粘膜下層に至る状態をいう
- (b) 10mm以上の胃底腺ポリープは癌化を考慮して内視鏡適切除を行う
- (c) 機能性ディスペプシアではしばしば胃癌を合併する
- (d) 胃アニサキス症に対しては化学療法が有効である
- (e) 胃・十二指腸潰瘍の原因の1つとして、NSAIDs（非ステロイド性抗炎症薬）の服用がある

40. H.pylori について正しいものはどれか

- (a) Strickland-Mackay 分類のA型胃炎は、H.pylori 感染と関連が深い
- (b) H.pylori 陽性の慢性胃炎（萎縮性胃炎）患者は胃癌発生の低危険群である
- (c) 胃MALT リンパ腫はH.pylori 除菌療法の保険適応である
- (d) 幼児期に自然感染したH.pylori は、ほとんど自然排除される
- (e) H.pylori 除菌治療後に再感染をきたすことはない